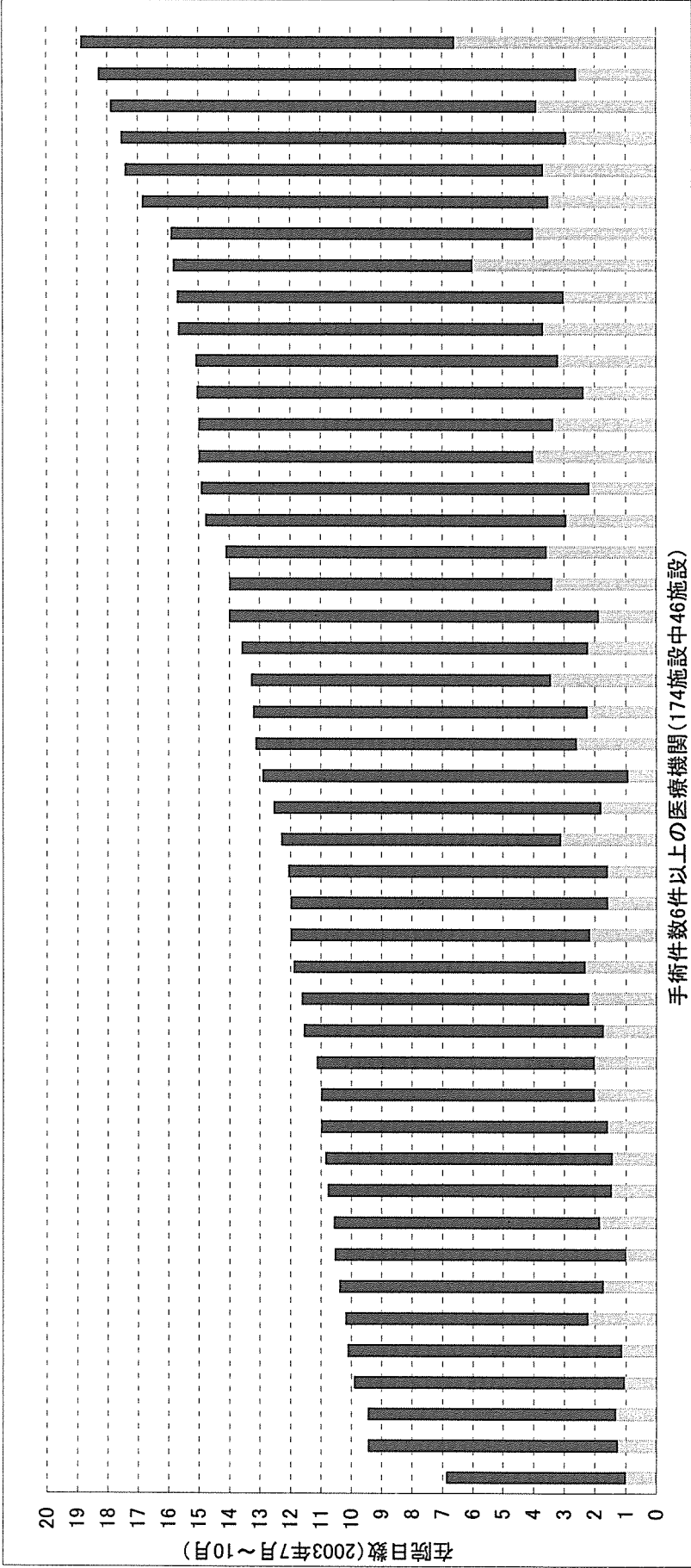


子宮の良性腫瘍・子宮筋腫核出術等施行症例における平均在院日数(N = 485)

解析対象DPC番号の範囲 1200603x01

分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル						
						5	10	25	50	75	90	95
子宮の良性腫瘍	在院日数	13.2	2.7	6.9	18.9	9.6	10.2	11.0	13.0	15.0	17.1	17.8
	術後在院日数	10.7	2.0	5.9	15.7	8.2	8.7	9.4	10.5	12.0	13.1	13.9
	術前在院日数	2.5	1.2	0.9	6.6	1.0	1.2	1.6	2.2	3.3	3.8	4.0



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(6件以上)の施設を解析対象とした。

解析対象データには、DPC手術コード:01における子宮筋腫核出術[Kコード:K8721, K8722]が含まれる。

術前在院日数

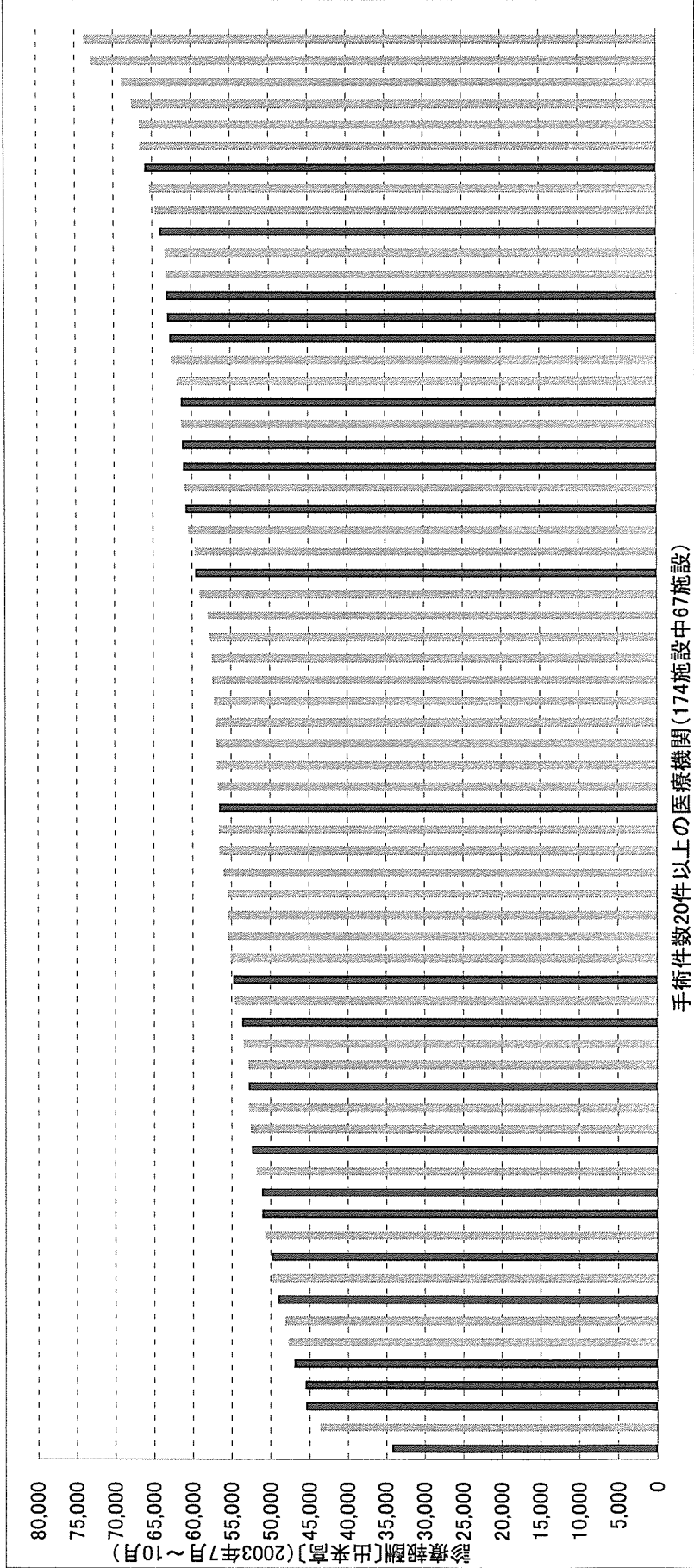
術後在院日数

【コメント】

外れ値両側5%を除外し、手術件数6件以上(件数上位25%)の46施設を解析対象とした。術前在院日数は1～7日に分布していて施設間のバラツキは小さく、術後在院日数も約1～2週間の分布であった。

子宮の良性腫瘍症例における一入院当たりの診療報酬〔出来高〕平均値(N = 2,432)

解析対象DPC番号の範囲		1200603												パーセンタイル											
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95													
子宮の良性腫瘍	診療報酬〔出来高〕	57,153	7,034	34,289	73,752	45,991	48,709	52,816	56,930	61,629	65,572	67,335													
	特定機能病院(44施設)〔出来高換算総点数〕	58,237	6,416	43,641	73,752	48,407	51,025	54,946	57,055	62,064	66,608	68,718													
	その他の参加病院(23施設)〔出来高制度の総点数〕	55,079	7,818	34,289	65,955	45,456	45,844	50,480	54,820	61,288	63,157	63,926													



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、20件以上の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■:特定機能病院

■:その他の参加病院

【コメント】

外れ値両側5%を除外し、手術件数20件以上の67施設を解析対象とした。全体では総診療報酬〔出来高〕は約6万点で、特定機能病院とその他の参加病院との間で診療報酬の差は小さかった。

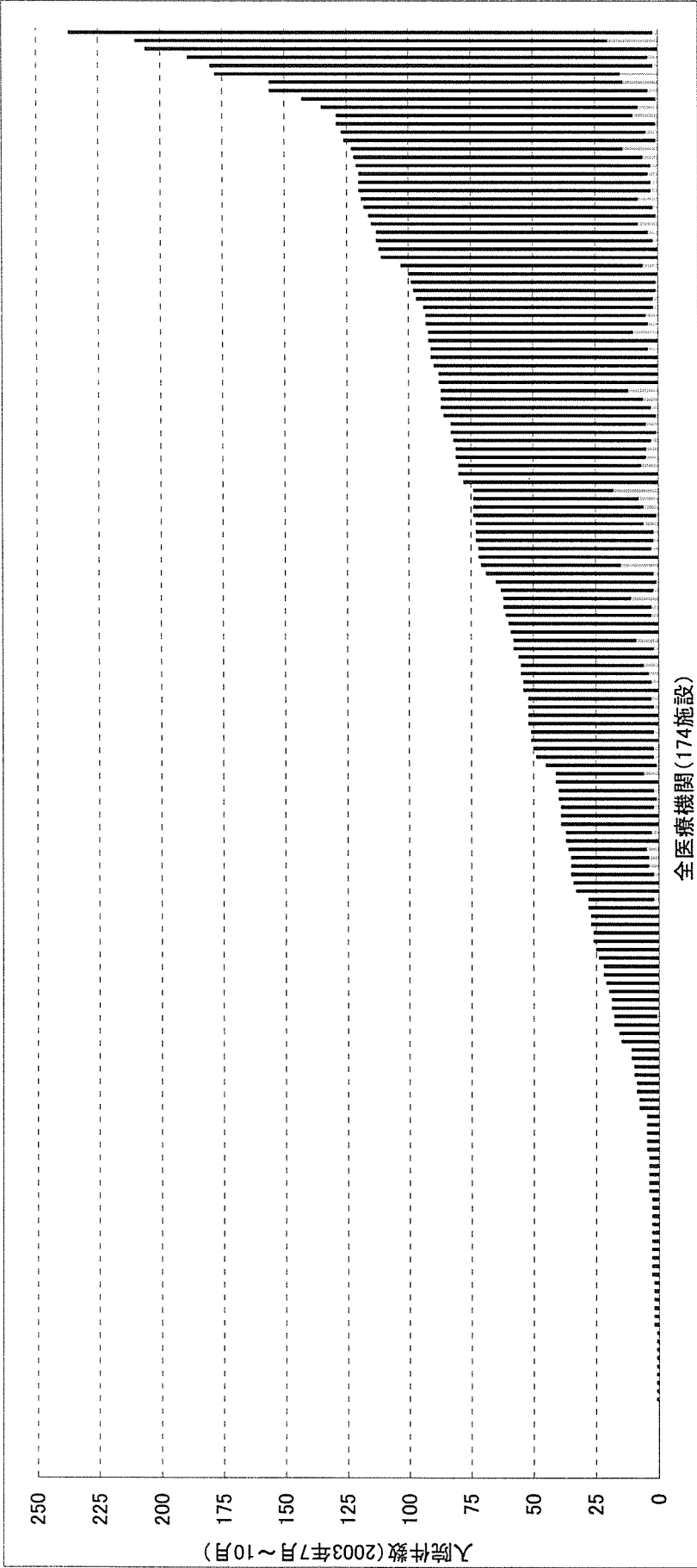
MDC13

血液・造血器・免疫臓器の疾患

血液・造血系悪性疾患の入院件数

解析対象DPC番号の範囲 1300103から1300603および1300803

解析対象DPC番号の範囲							1300103から1300603および1300803							パーセンタイル						
分類名	解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95							
急性白血病/ホジキン病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/再生不良性貧血	血液・造血系悪性疾患の件数	9,557	54.9	50.4	0	237	1	1	6	50	87	120	138							
	骨髄移植を施行しなかった件数	9,178	52.7	48.5	0	235	1	1	6	48	84	116	133							
	骨髄移植を施行した件数	379	2.2	3.7	0	20	0	0	0	0	3	6	10							



【図の説明】

：骨髄移植を施行した件数
【DPC手術コード:00,01,02】

：骨髄移植を施行しなかった件数
【DPC手術コード:00,01,02以外】

【コメント】

・血液・造血系悪性疾患の件数1例以上の医療機関は165施設(全体の95%)において見られた。骨髄移植は、全入院の約3%で施行されていた。

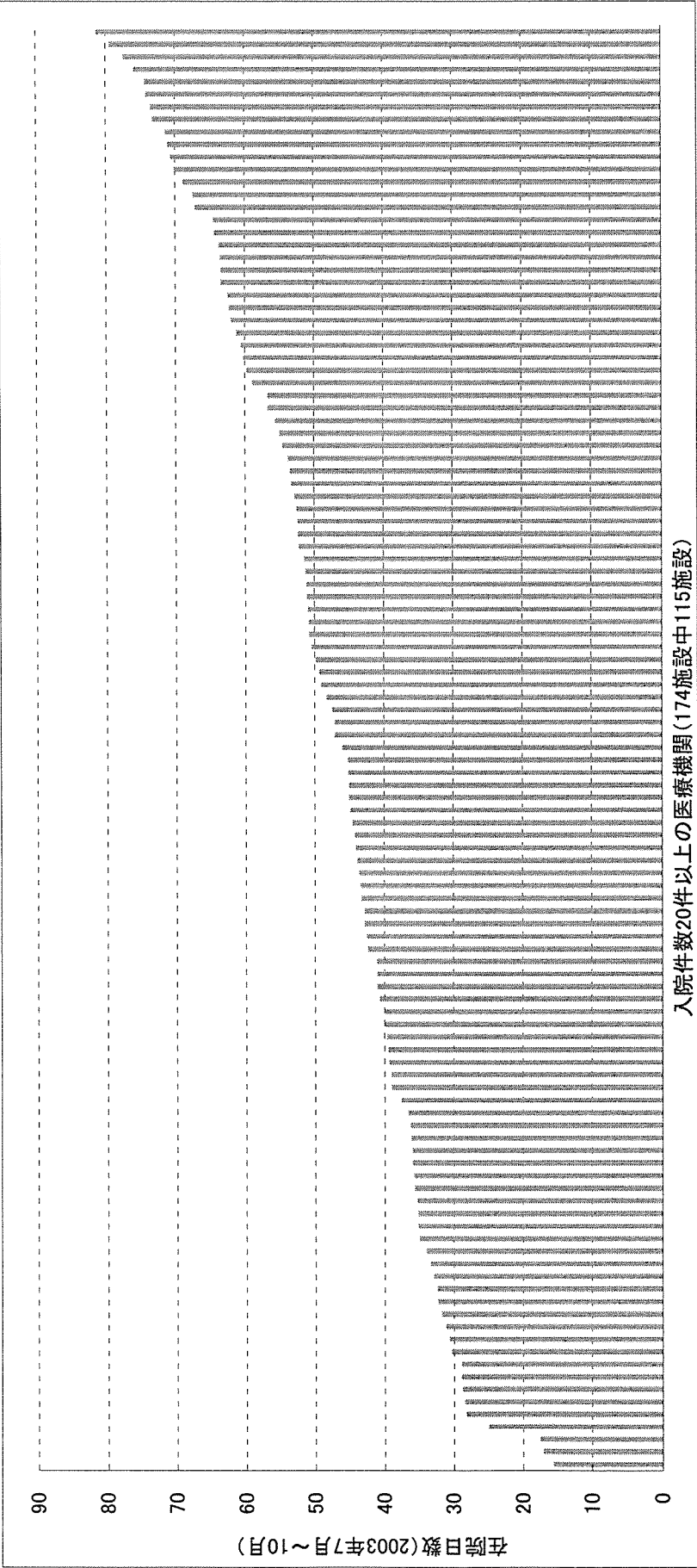
・血液・造血系悪性疾患の入院が多い医療機関は、特定機能病院に多く見られた。

・血液・造血系悪性疾患の死亡例は、少ないもののほとんどの数は医療機関で見られた。

血液・造血系悪性疾患における平均在院日数(N = 8,528)

解析対象DPC番号の範囲 1300103から1300603および1300803

分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
	急性白血病/ホジキン病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/再生不良性貧血	在院日数	48.2	14.4	15.6	81.4	28.7	31.4	37.1	46.0	57.9	69.6



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。

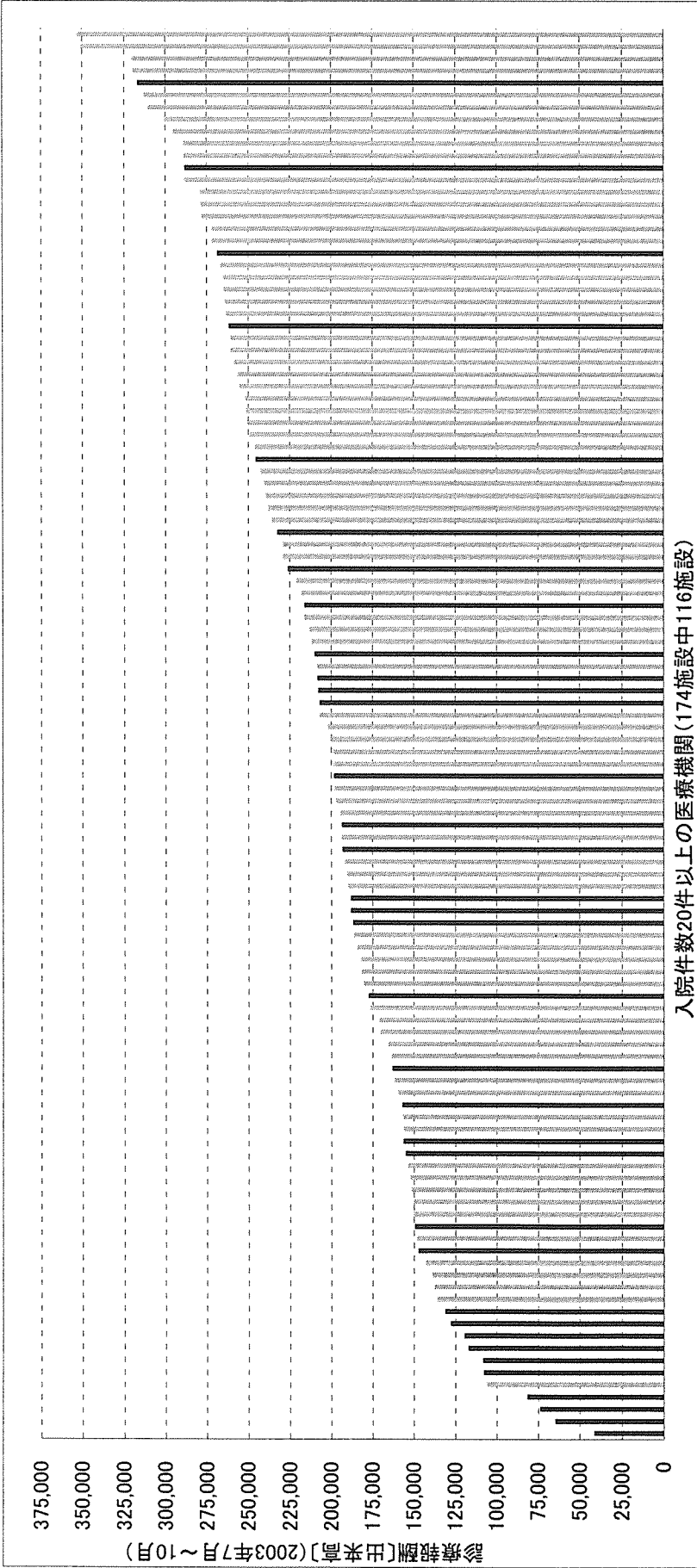
：平均在院日数

【コメント】

・血液・造血系悪性疾患の平均在院日数では、3施設(件数:20,25,100)が20日未満であった。

血液・造血系悪性疾患における一入院当たり診療報酬〔出来高〕平均値(N = 8,766)

解析対象DPC番号の範囲		1300103から1300603および1300803		パーセンタイル									
分類名	解析内容		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
	急性白血病/ホジキン病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/再生不良性貧血												
	診療報酬〔出来高〕												
	特定機能病院(81施設)〔出来高換算総点数〕												
	その他の参加病院(35施設)〔出来高制度の総点数〕												
		207,369	61,782	41,238	353,037	108,272	136,683	161,388	201,382	255,346	288,191	310,955	
		221,449	55,536	105,911	353,037	143,042	151,533	180,365	216,099	263,146	288,939	313,027	
		174,784	63,940	41,238	316,591	71,158	92,134	129,615	186,959	209,163	255,231	274,675	



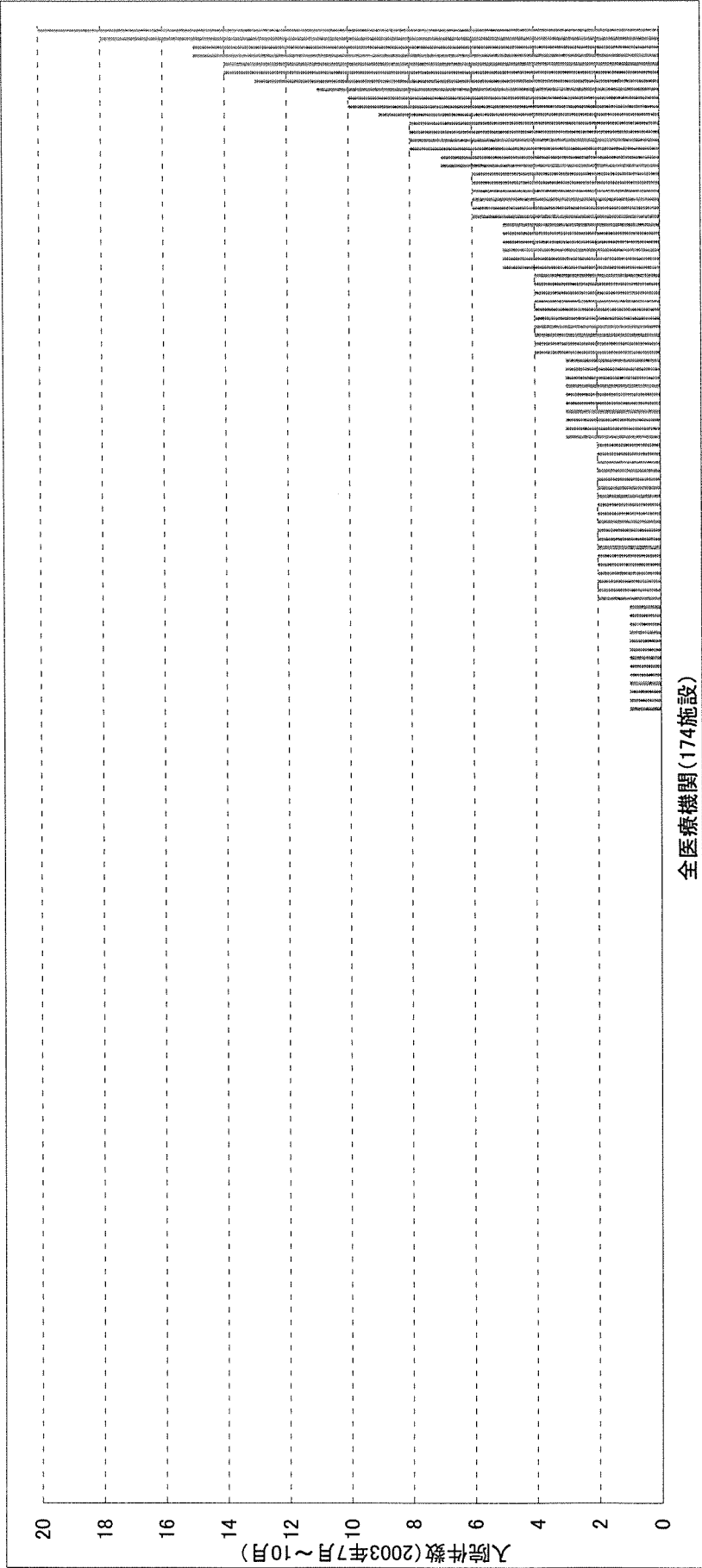
【図の説明】 外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

【コメント】 ・血液・造血系悪性疾患の診療報酬〔出来高〕(一入院当たり)は、特定機能病院の方が高い傾向にあった。

骨髄移植の入院件数

解析対象DPC番号の範囲 1300103から1300903および1301203および1301503 (DPC手術コード:00から02)

分類名	解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセントイル						
							5	10	25	50	75	90	95
急性白血病/ホジキン病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/白血球疾患(その他)/再生不良性貧血/貧血(その他)	骨髄移植施行数	382	2.2	3.7	0	20	0	0	0	0	3	6	10



【図の説明】

：骨髄移植施行数

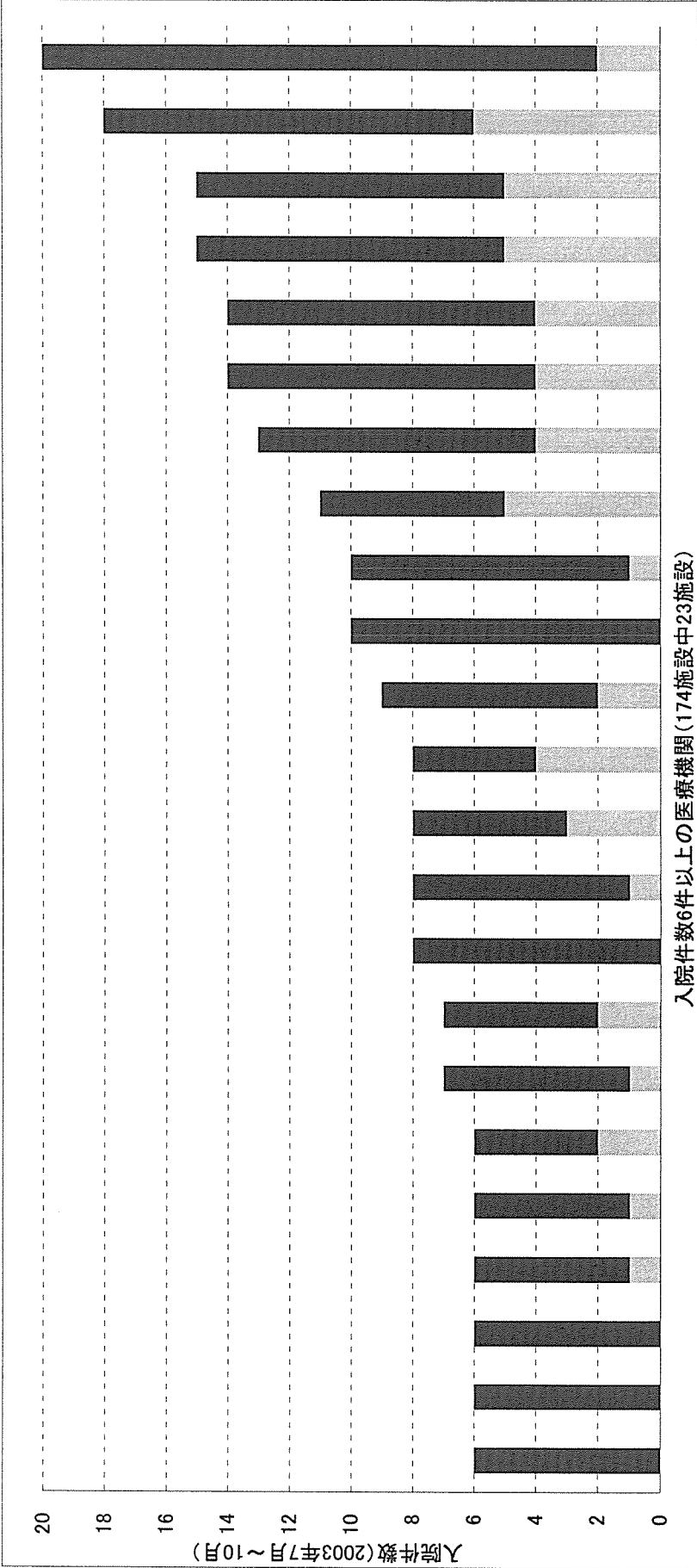
【コメント】

- ・骨髄移植の施行数の1件以上の医療機関は81施設(全体の47%)において見られた。
- ・骨髄移植の施行数の施行数が多い医療機関は、特定機能病院に多く見られた。
- ・骨髄移植の施行数には、医療機関でバラツキが見られた。

骨髄移植の生存件数と死亡件数

解析対象DPC番号の範囲 1300103から1300903および1301203および1301503 (DPC手術コード:00から02)

解析対象DPC番号の範囲										1300103から1300903および1301203および1301503 (DPC手術コード:00から02)										パーセンタイル									
分類名		解析内容		入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95														
急性性白血病/ホジキン病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫・免疫系悪性新生物/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/白血球疾患(その他)/再生不良性貧血/貧血(その他)		生存件数		178	7.7	3.2	4	18	4	5	6	7	10	10	12														
		死亡件数		53	2.3	1.9	0	6	0	0	1	2	4	5	5														



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(6人以上)の施設を解析対象とした。

：生存件数

：死亡件数

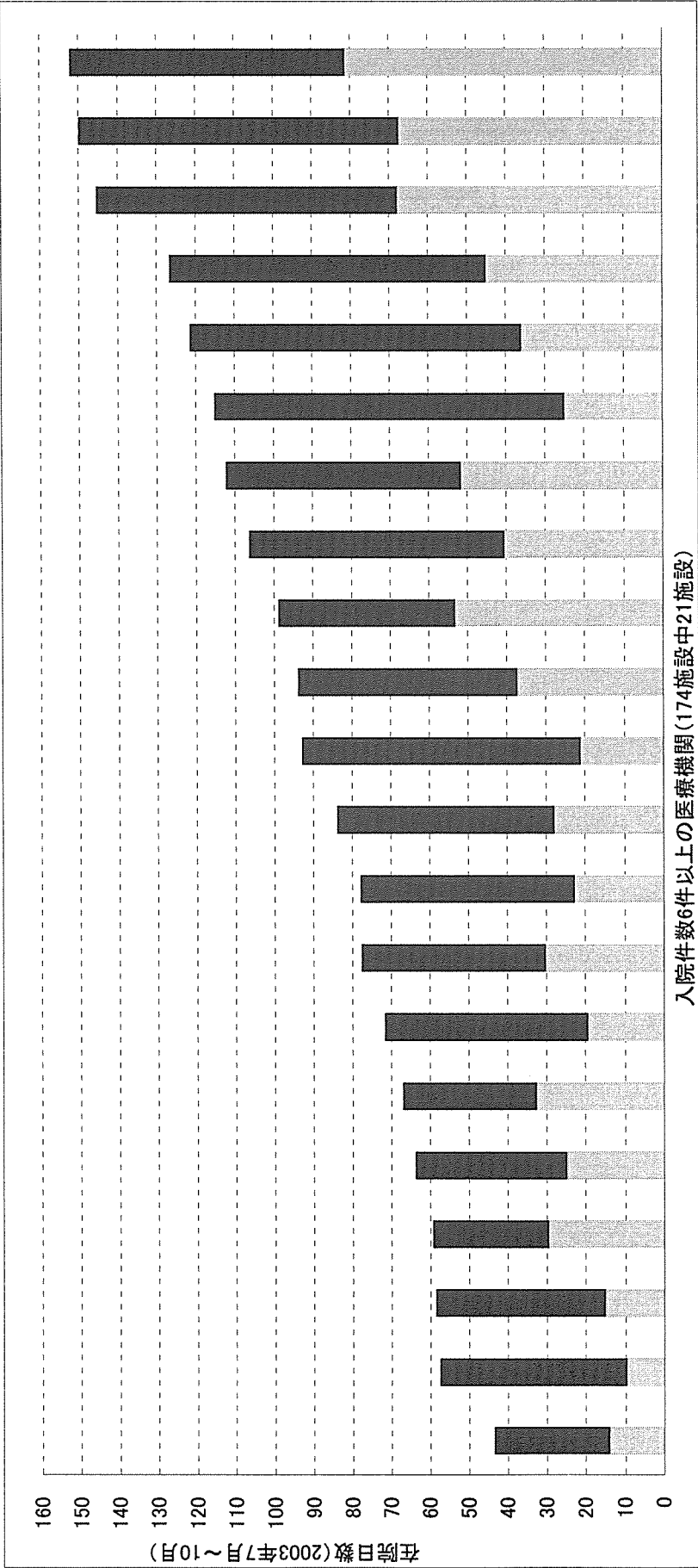
【コメント】

- ・患者のリスクなどを考慮していない。
- ・骨髄移植の死亡件数には医療機関でバラツキが見られた。

骨髄移植における平均在院日数(N = 204)

解析対象DPC番号の範囲 1300103から1300903および1301203および1301503 (DPC手術コード:00から02)

解析対象DPC番号の範囲 1300103から1300903および1301203および1301503 (DPC手術コード:00から02)												
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル						
						5	10	25	50	75	90	95
急性性白血病/ホジキン病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/白血球疾患(その他)/再生不良性貧血/貧血(その他)	在院日数	94.1	32.4	43.6	152.1	57.6	58.7	67.0	92.9	115.2	145.6	149.9
	術後在院日数	58.4	18.6	29.6	90.4	29.9	34.5	45.8	56.3	71.8	82.6	85.6
	術前在院日数	35.7	19.2	9.7	81.3	14.0	15.0	22.7	30.1	45.0	67.4	67.9



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(6件以上)の施設を解析対象とした。

術前在院日数

術後在院日数

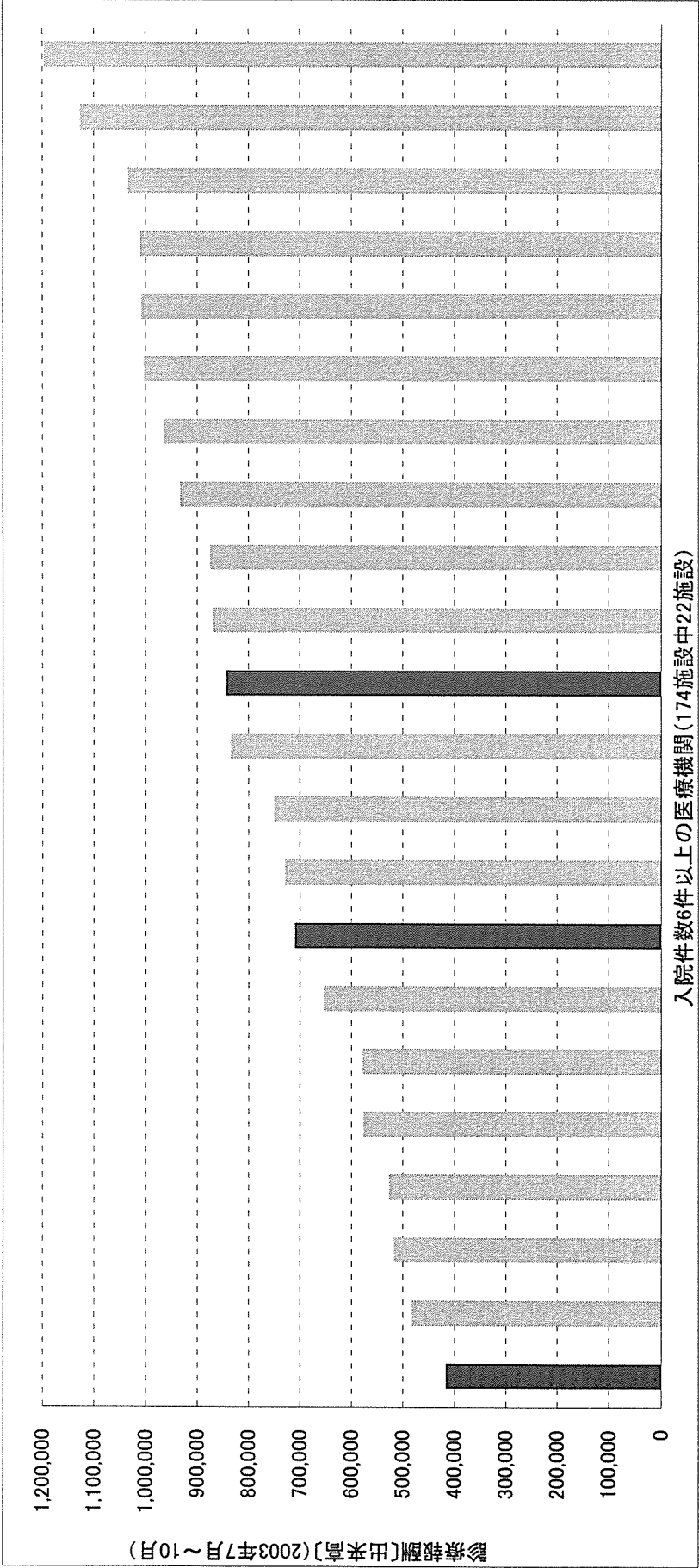
【コメント】

・骨髄移植の平均在院日数には、医療機関で大きなバラツキが見られた。

骨髄移植における一入院当たり診療報酬〔出来高〕平均値(N = 211)

解析対象DPC番号の範囲 1300103から1300903および1301203および1301503 (DPC手術コード:00から02)

解析対象DPC番号の範囲 1300103から1300903および1301203および1301503 (DPC手術コード:00から02)													パーセンタイル				
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95					
急性白血病/ホジキン病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/白血球疾患(その他)/再生不良性貧血/貧血(その他)	診療報酬〔出来高〕	801,618	222,717	415,951	1,195,778	484,673	518,339	597,741	838,852	993,089	1,030,776	1,122,177					
	特定機能病院(19施設)〔出来高換算総点数〕	824,587	220,192	482,954	1,195,778	513,887	525,443	616,597	867,823	1,004,859	1,051,795	1,133,760					
	その他の参加病院(3施設)〔出来高制度の総点数〕	656,151	218,443	415,951	842,922	445,313	474,676	562,765	709,580	776,251	816,254	829,588					



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(6件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

特定機能病院

その他の参加病院

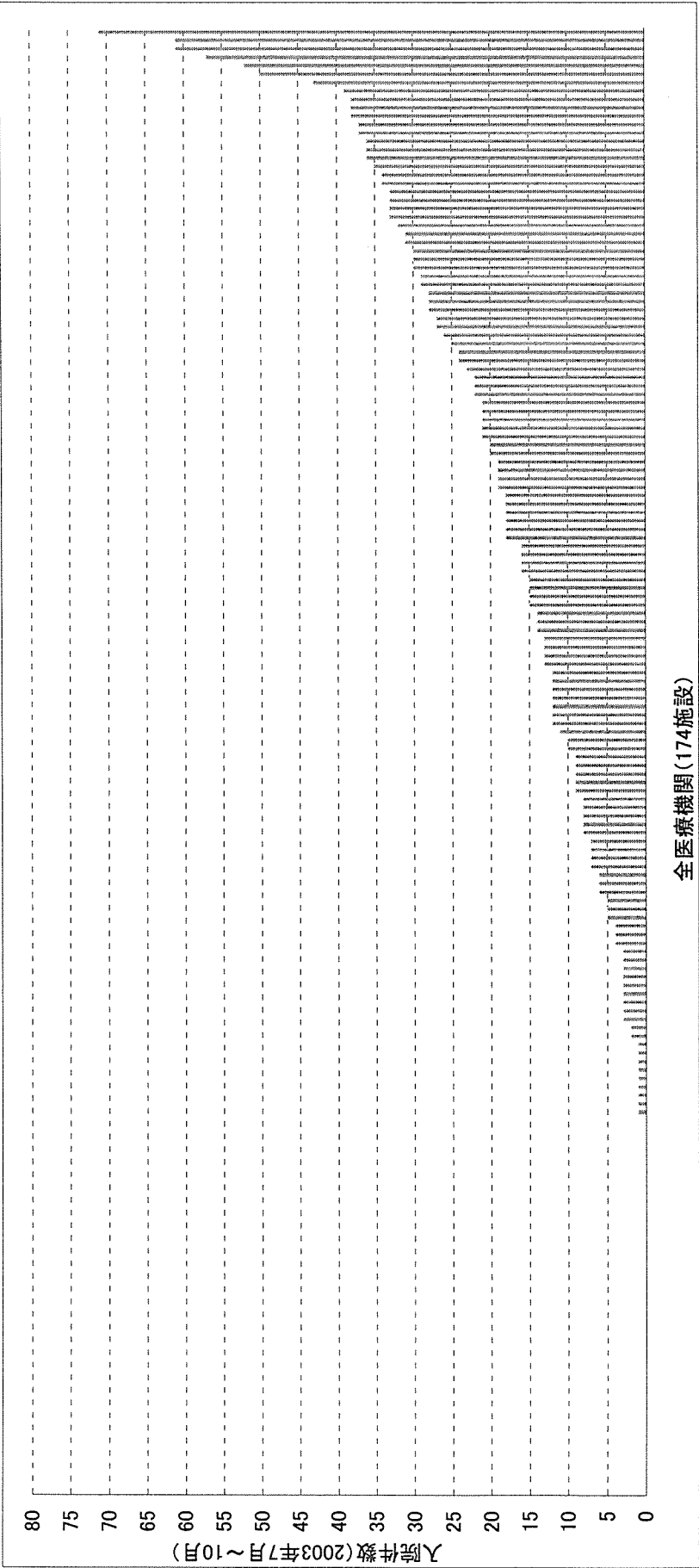
【コメント】

・骨髄移植の診療報酬〔出来高〕(一入院当たり)は、特定機能病院の方が高い傾向にあった。

急性白血病の入院件数

解析対象DPC番号の範囲 1300103

解析対象DPC番号の範囲		1300103		パーセントイル									
分類名	解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
急性白血病	入院件数	2,393	13.8	14.8	0	71	0	0	0	9	22	34	38



全医療機関(174施設)

【図の説明】

急性白血病の件数

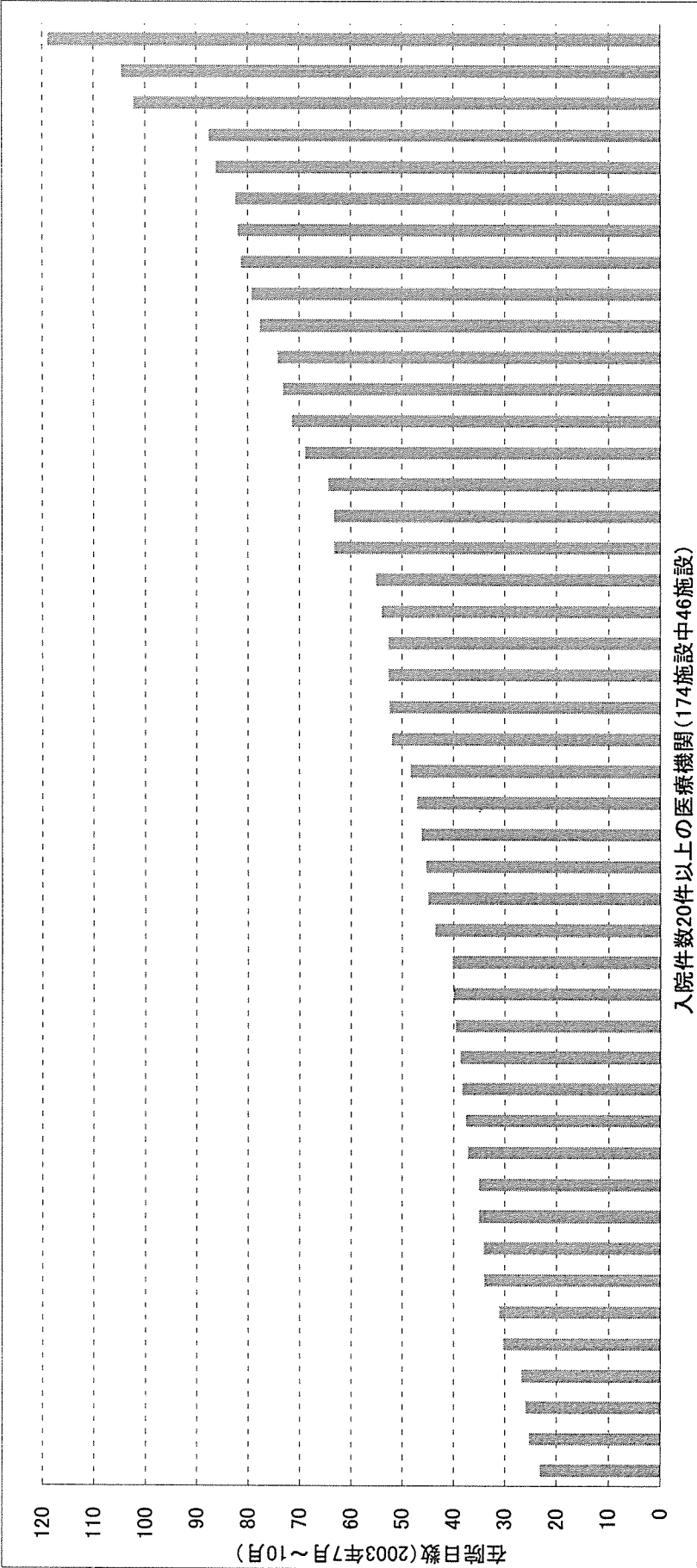
【コメント】

- 急性白血病の件数1例以上の医療機関は129施設(全体の74%)において見られた。
- 急性白血病の件数の多い医療機関は、特定機能病院に多く見られた。
- 急性白血病の件数は、医療機関でバラツキが見られた。

急性白血病における平均在院日数(N = 1,475)

解析対象DPC番号の範囲 1300103

分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル							
						5	10	25	50	75	90	95	
急性白血病	在院日数	55.3	23.2	23.1	118.9	26.2	30.7	37.8	50.2	72.7	84.3	98.5	



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。

：平均在院日数

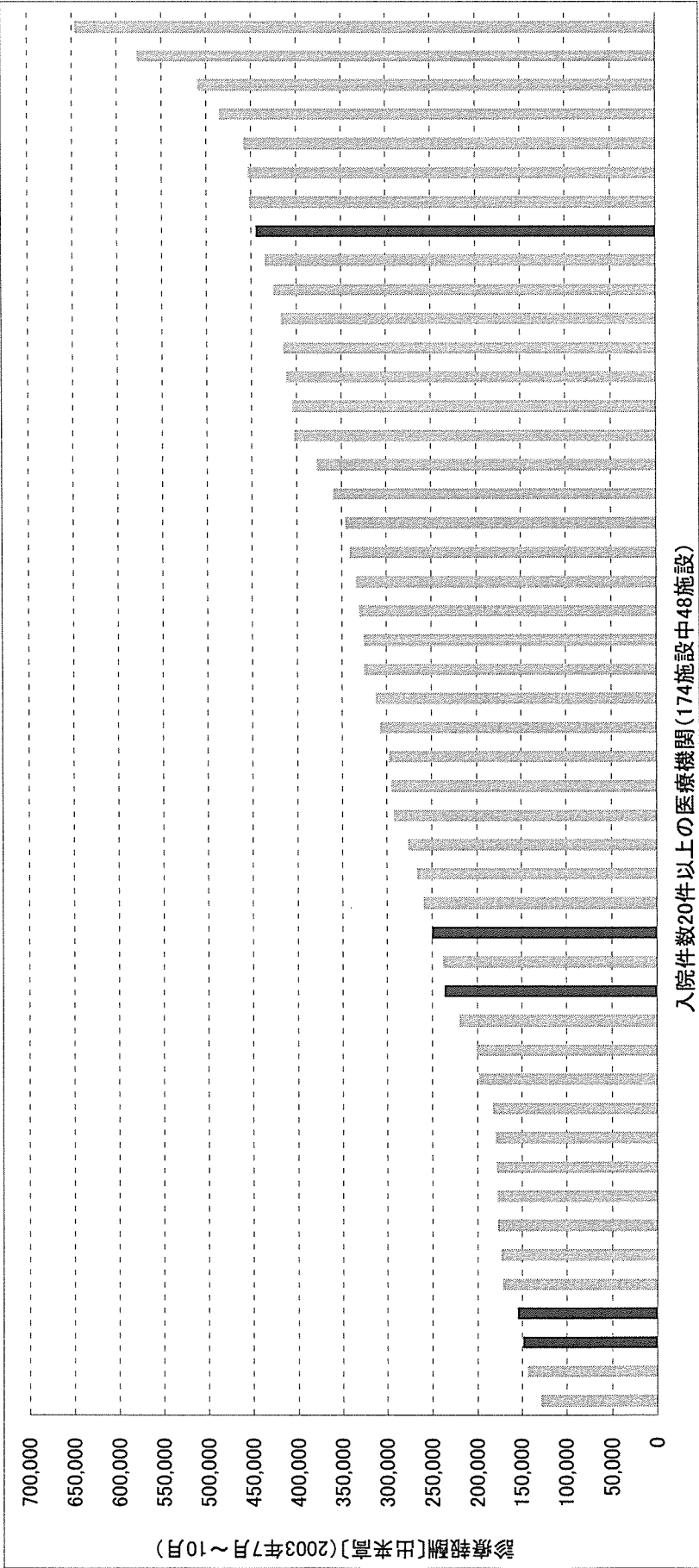
【コメント】

・急性白血病の平均在院日数は、医療機関で大きなバラツキが見られた。

急性白血病における一入院当たり診療報酬〔出来高〕平均値(N = 1,542)

解析対象DPC番号の範囲 1300103

解析対象DPC番号の範囲		1300103											パーセンタイル				
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95					
急性白血病	診療報酬〔出来高〕	308,297	122,938	129,139	645,990	150,959	172,950	199,841	309,913	411,812	454,708	501,180					
	特定機能病院(43施設)〔出来高換算総点数〕	315,606	122,181	129,139	645,990	171,925	177,579	210,032	325,038	412,556	456,839	507,195					
	その他の参加病院(5施設)〔出来高制度の総点数〕	246,903	119,608	148,801	444,449	150,035	151,268	154,967	236,250	250,046	366,688	405,569					



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■ : 特定機能病院

■ : その他の参加病院

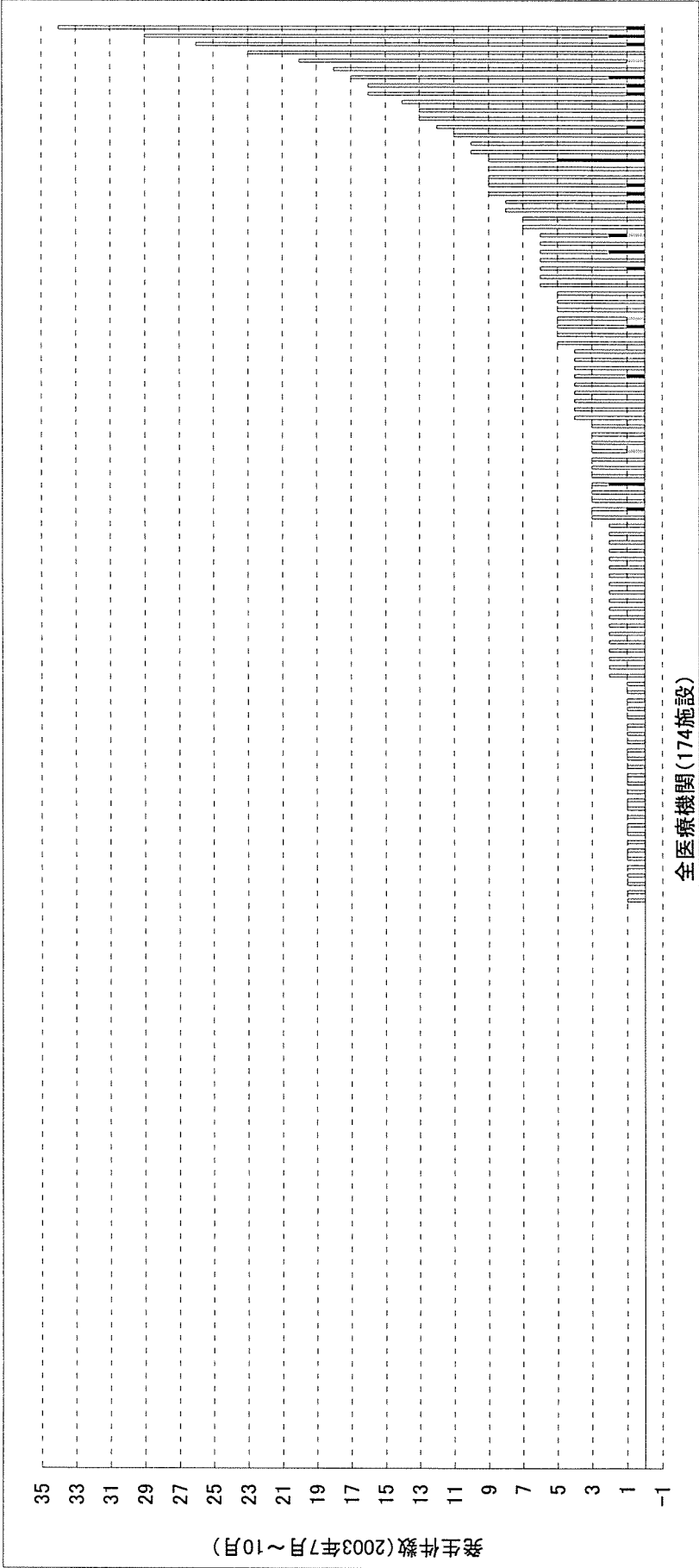
【コメント】

・急性白血病の診療報酬〔出来高〕(一入院当たり)は、特定機能病院の方が高い傾向があった。

年齢別・播種性血管内凝固症候群(DIC)の発生数

解析対象DPC番号の範囲 1301003

分類名	解析内容	発生件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
播種性血管内凝固症候群(DIC)	DICの件数(全年齢)	571	3.3	5.5	0	34	0	0	0	1	4	9	15
	DICの件数(15歳以上)	541	3.1	5.3	0	33	0	0	0	1	4	9	14
	DICの件数(1～14歳)	26	0.1	0.5	0	5	0	0	0	0	0	1	1
	DICの件数(乳児)	4	0.0	0.2	0	1	0	0	0	0	0	0	0



【図の説明】

発生件数(2003年7月～10月)

【コメント】

- ・播種性血管内凝固症候群(DIC)の件数1例以上の医療機関は106施設(全体の61%)において見られた。
- ・DICの件数のほとんどは15歳以上の患者であった。
- ・入院後にDICを合併した件に関してはMDC横断的解析の5～7を参照。

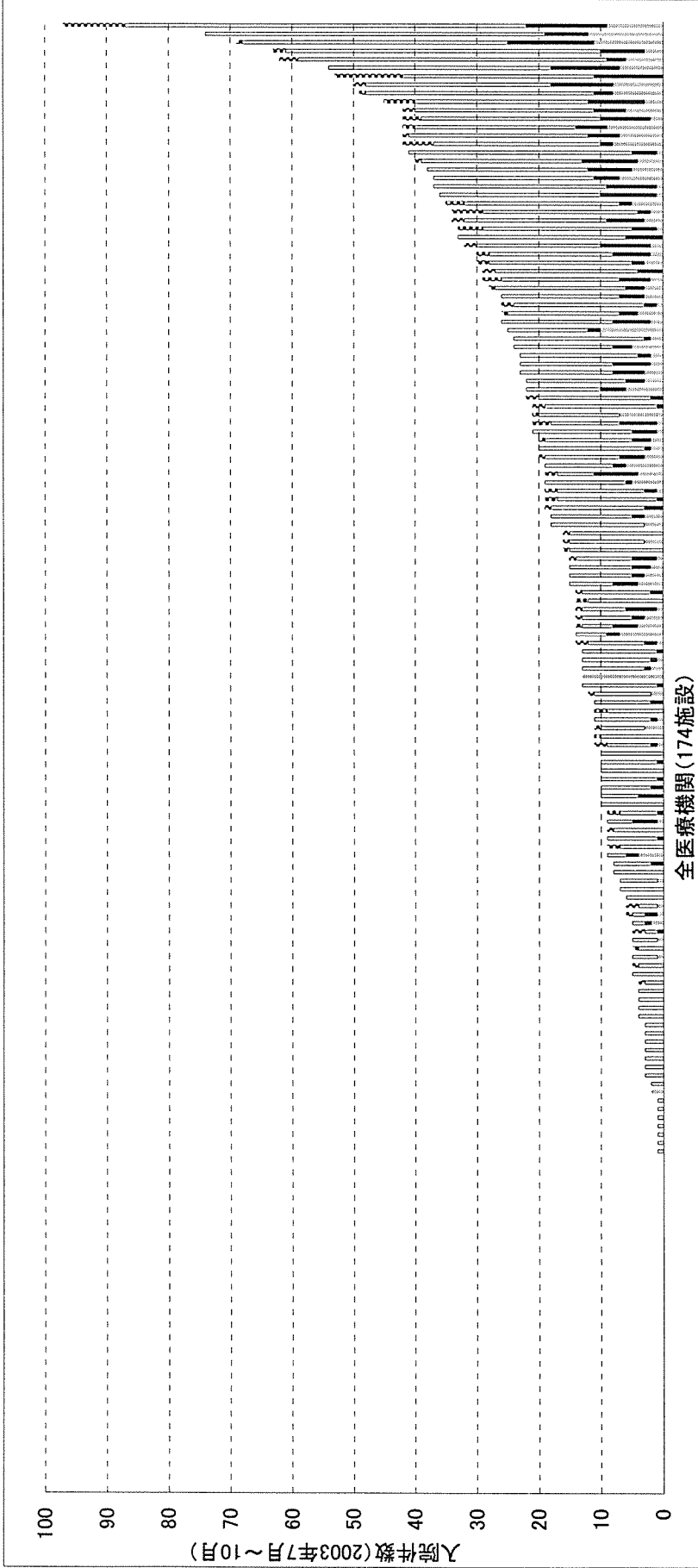
MDC14

新生児疾患、先天性奇形

妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害の入院件数

解析対象DPC番号の範囲 1400103

解析対象DPC番号の範囲							1400103							パーセンタイル						
分類名		解析内容		入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95					
妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害	出生時体重1000g未満	288	2	3	0	13	0	0	0	0	0	0	2	6	7					
	出生時体重1000g以上1500g未満	342	2	3	0	14	0	0	0	0	0	1	3	6	8					
	出生時体重1500g以上2500g未満	1,859	11	12	0	65	0	0	0	1	8	16	26	30	30					
	出生時体重2500g以上	127	1	1	0	11	0	0	0	0	0	0	1	2	3					



【図の説明】

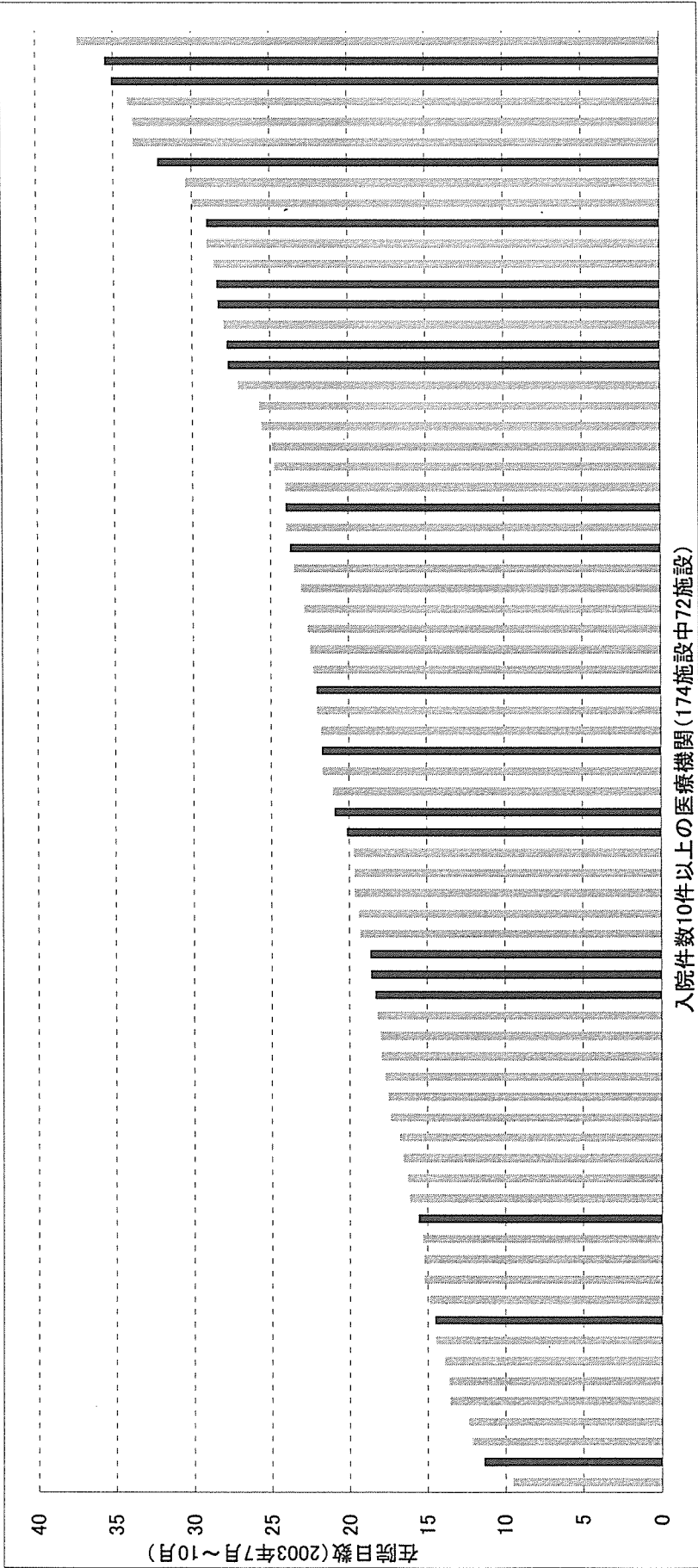
出生時体重1000g未満 出生時体重1000g以上1500g未満 出生時体重1500g以上2500g未満 出生時体重2500g以上

【コメント】

- ・妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害の入院件数は、MDC14の全件数の約16%を占めていた。
- ・全体の77%(134施設)において1件以上の件数が見られた。

妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害(出生時体重1500g以上2500g未満)における平均在院日数(N = 1,573)

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル											
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95	
	妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害	平均在院日数／特定機能病院(52施設)	21.2	6.3	9.5	37.3	13.1	14.0	16.5	20.4	24.7	29.8	33.7
		平均在院日数／その他の参加病院(20施設)	23.7	6.7	11.4	35.5	14.4	15.5	18.6	22.9	28.4	32.5	35.1



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(10件以上)の施設を解析対象とした。

■:特定機能病院[52施設]

■:その他の参加病院[20施設]

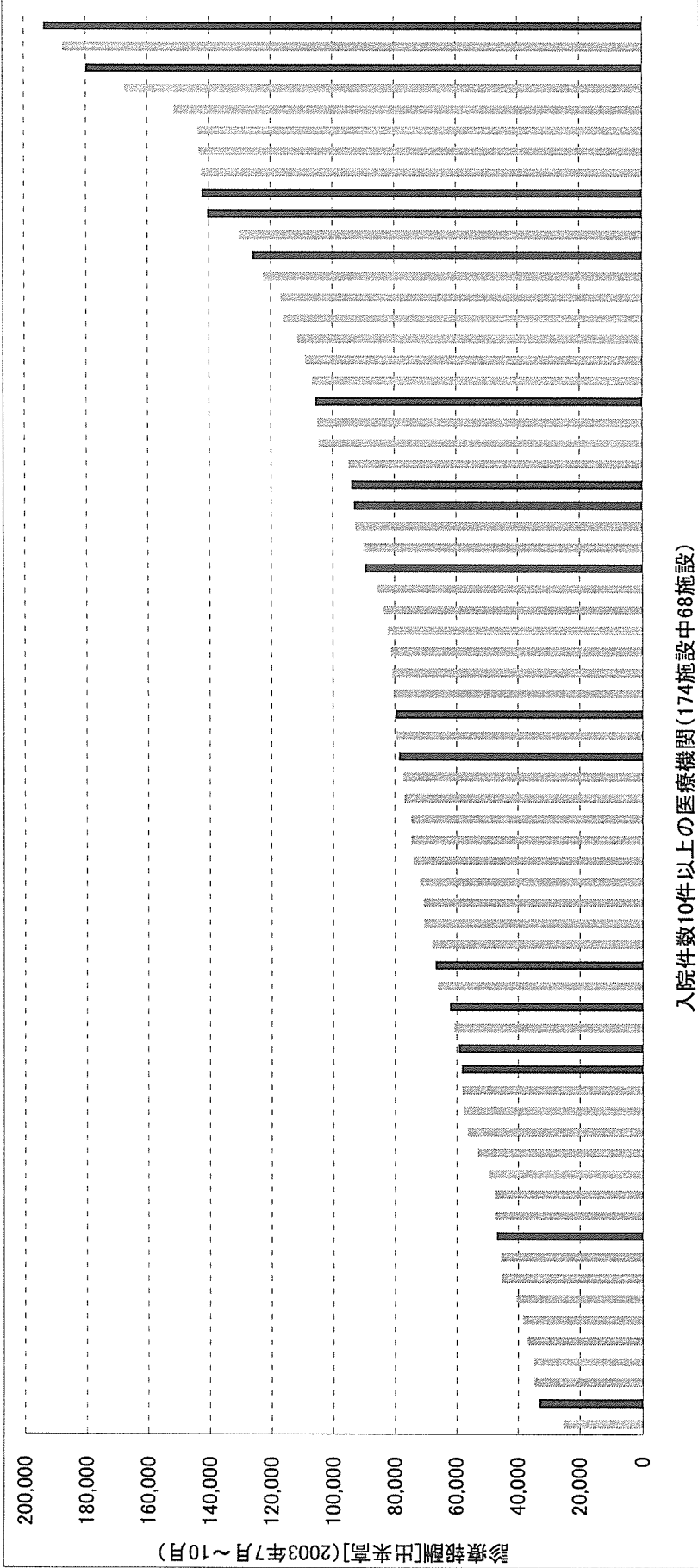
【コメント】

・最長の施設は最短の施設の4倍近く、施設間のバラツキが認められた。

妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害(出生時体重1500g以上2500g未満)における一入院当たり診療報酬〔出来高〕平均値(N = 1,573)

解析対象DPC番号の範囲 14001032

分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害	平均診療報酬(出来高換算点数)/特定機能病院(51施設)	83,611	36,821	25,290	187,510	35,878	40,457	57,189	77,067	105,771	142,450	147,415
	平均診療報酬(出来高制度の総点数)/その他の参加病院(17施設)	96,981	45,682	33,097	193,511	44,175	53,775	62,146	89,518	125,838	157,338	182,641



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数10以上の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

特定機能病院〔51施設〕

その他の参加病院〔17施設〕

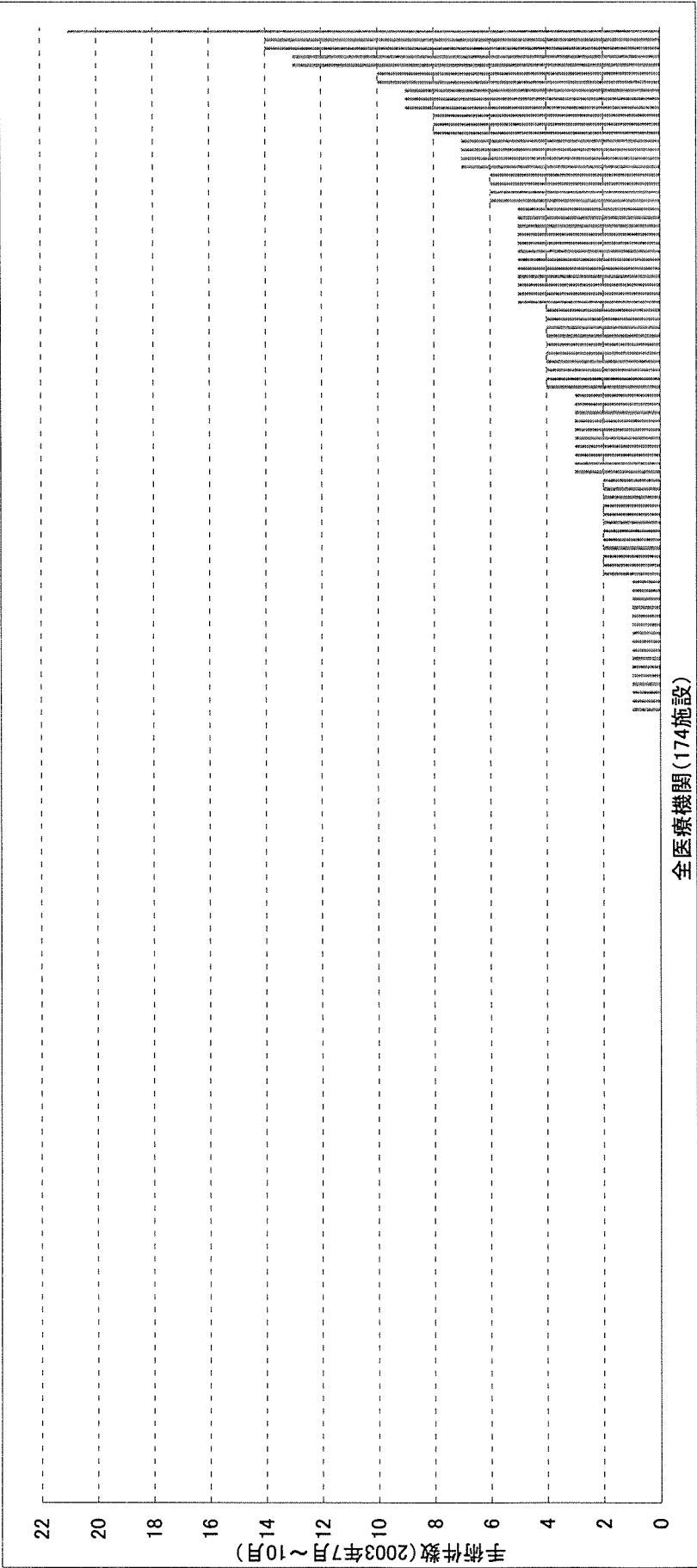
【コメント】

・平均診療報酬も在院日数を反映しているが、最大の施設が最小の施設の6倍以上とさらに大きなバラツキがみられた。

心臓血管外科専門医認定機構難易度A指定の先天性心疾患の手術件数

解析対象DPC番号の範囲 1402903および1403003および1403103および1403403および1403603

解析対象DPC番号の範囲												1402903および1403003および1403103および14033603										パーセンタイル									
分類名	解析内容		手術件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95																	
動脈管閉存症/心房中隔欠損症/心室中隔欠損症/ 非短絡性心奇形/新生児乳児の先天性心疾患	心臓血管外科学会難易度A指定 の先天性心疾患の手術件数		368	2	3	0	21	0	0	0	0	3	6	9																	



【図の説明】

：手術件数(難易度A)
【難易度Aに含まれる手術術式】 PDA手術、ASD閉鎖術、VSD(肺動脈弁下型)閉鎖術、肺動脈弁切開術

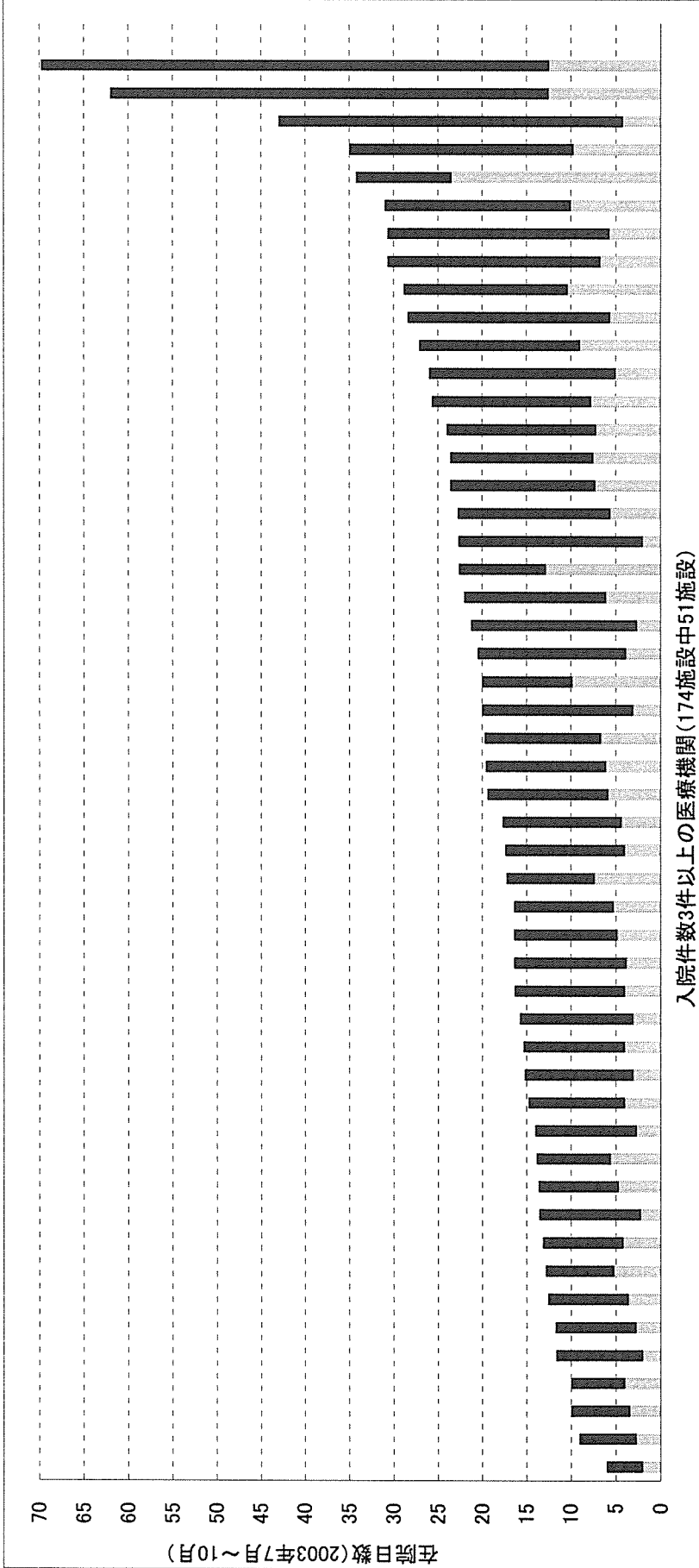
【コメント】

- ・先天性心疾患の手術件数は、MDC14の全件の約16%を占めていた。難易度Aの手術は全先天性心疾患の約28%であった。
- ・全体の47%(81施設)において1件以上の手術が見られた。
- ・全体的な死亡率は1%であった。

心臓血管外科専門医認定機構難易度A指定の先天性心疾患における平均在院日数 (N = 307)

解析対象DPC番号の範囲 1402903および1403003および1403103および1403403および1403603

解析対象DPC番号の範囲						1402903および1403003および1403103および14033603										パーセンタイル						
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95										
動脈管閉存症/心房中隔欠損症/心室中隔欠損症/ 非短絡性心奇形/新生児乳児の先天性心疾患	在院日数	21.7	11.7	6.0	69.8	10.0	11.8	14.4	19.6	24.8	31.0	39.0										
	術後在院日数	15.8	9.9	4.0	57.4	6.5	8.4	10.1	13.1	18.1	24.0	32.1										
	術前在院日数	5.9	3.8	2.0	23.4	2.1	2.7	3.7	5.0	7.2	10.0	12.5										



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25% (3件以上) の施設を解析対象とした。

術前在院日数

術後在院日数

【コメント】

- ・平均在院日数は概ね20日前後であった。
- ・40日を越える施設が複数あり、これらでは術後在院期間が長くなっていた。